JDGY 横浜日独協会

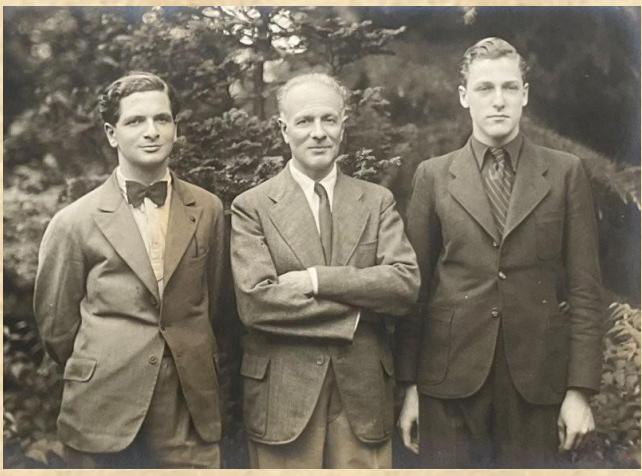
認定 NPO 法人横浜日独協会主催 講演会

演題：ドイツ出身の音楽家クラウス・プリングスハイムと日本

講師：酒井健太郎氏 昭和音楽大学准教授

日時：７月１９日(土）15:00～16:45
場所：TIME SHARING 3B 横浜関内セルテ アネックス
関内駅北口１分（「セルテ」の別館で左寄り裏の建物３階）

クラウス・プリングスハイム（1883-1972）は、ミュンヘンの裕福な家庭に生まれ、グスタフ・マーラーの弟子そして友人として音楽の研鑽を積み、その後、ベルリンで「黄金の1920 年代」を経験しました。1931 年、東京音楽学校（現在の東京藝術大学音楽学部）の外国人教師として来日し、以来、亡くなるまでのほとんどの期間を日本を拠点に活動しました。
約 40 年間にわたる日本での活動を振り返り、彼が日本の音楽界に何をもたらしたか考えます。



1940 年頃のプリングスハイム。長男（左）、次男（右）と。（孫の Tamara Marwitz 氏所蔵）

申し込み

締め切り：７月１６日（水）
参加費：1000 円　会員以外の方も参加いただけます。
下記 URL からお申し込みください。
https://ws.formzu.net/dist/S88344053/

お問い合わせ： soohori3901-samart@yahoo.co.jp（大堀）

申込フォーム